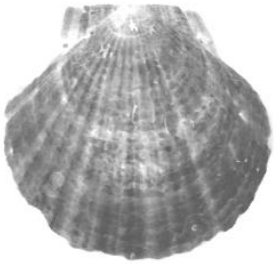
令和7年度　ホタテガイ採苗通報（臨時）

令和7年7月16日



宮城県
気仙沼水産試験場　TEL：0226-41-0652 FAX：0226-41-0743
E-mail：kssuisan@pref.miyagi.lg.jp
HP：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
気仙沼地方振興事務所水産漁港部　TEL：0226-22-6852
水産技術総合センター　TEL：0225-24-0138
県漁協各支部青年部・研究会

・大谷（大沢）の採苗稚貝数は、採苗袋あたり4,943個でした。殻長組成は4～6mmサイズが主体となっておりました。
・中部地区の採苗稚貝数は、採苗袋あたり534～1,568個でした。
・北部・中部地区ともに害敵生物（ヒトデなど）は、今回調査した採苗袋内では確認されませんでしたが、ムラサキイガイが大量に確認されました。
・今後の稚貝採取にあたっては、気象・海況や水温の動向に注意して作業を実施してください。

表　各調査点の付着稚貝数（採苗袋あたり）

調査点		垂下期間 投入－回収	垂下水深 m	稚貝数	殻長組成（mm） 2以下	2～4	4～6	6～8	8～10※1	10～12※2	12以上
北部地区											
大谷本吉	大沢	5/17～7/14	10	4,943	521 (11%)	1,327 (27%)	1,822 (37%)	791 (16%)	442 (9%)	40 (1%)	0 (0%)
中部地区											
十三浜	双子沖①	5/2～6/20	15	1,236	－	－	－	－	－	－	－
	双子沖②	5/6～6/20	20	534	－	－	－	－	－	－	－
	双子沖③	5/2～7/9	15	1,398	－	－	－	－	－	－	－
	双子沖④	5/15～7/9	15	1,568	－	－	－	－	－	－	－
女川	出島	5/3～6/10	10	1,155	－	－	－	－	－	－	－

注　※１：２分目以下のホタテネット（パールネット）で稚貝採取可能
※２：２分５厘目以下のホタテネット（パールネット）で稚貝採取可能

稚貝採取の注意点

・高水温（26℃以上）では稚貝がへい死する恐れがあります。（ホタテガイ活動適水温：5～22℃）
・稚貝採取にあたっては気象予報などを活用し、気温の低いときに実施するよう、計画を立てましょう。
・稚貝を採取する場合は、水温の上がり過ぎ（26℃以上）や酸欠に注意しましょう。
・海水は水温の低いなるべく深いところから汲み上げ、かけ流しにし、水槽内の水がくまなく行き渡るような稚貝の密度にしてください。
・稚貝は空気中に長く露出しないようにするとともに、稚貝にショックを与えないよう、作業は丁寧に短時間で済ませましょう。
・作業が終わり次第、直ちに水温の低い水深へ垂下してください。

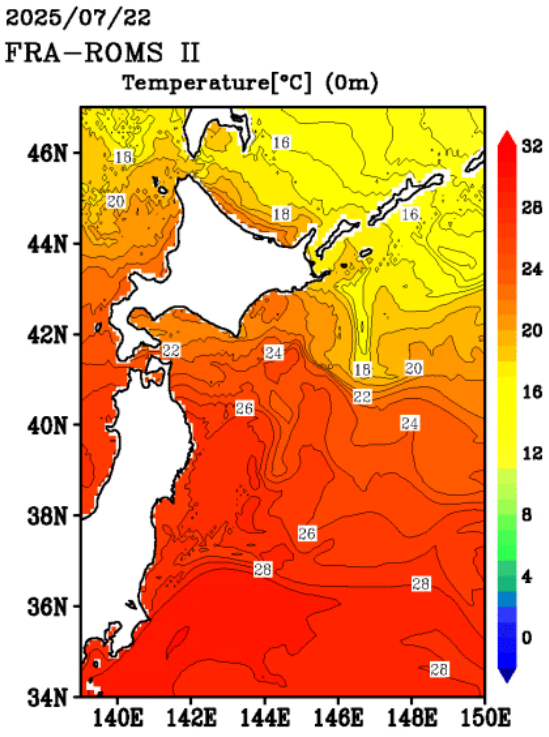
- **採苗袋を提供いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。**
- **来週以降もホタテガイ付着数等を調査する予定としておりますので、実施の際には採苗袋（各支所１～２袋）の提供をお願いします。**

令和7年度　ホタテガイ採苗通報（臨時）

【海況情報】

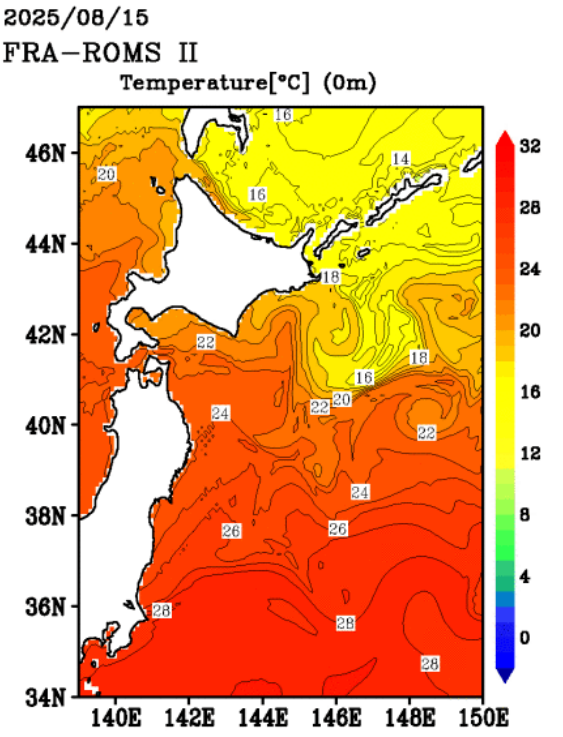
〈国立研究開発法人水産研究・教育機構「改良版我が国周辺の海況予報システム（FRA-ROMSⅡ）」から抜粋〉

1週間先の海況情報（表層水温）



b) 北海道・東北ブロック(139-150E,34-47N)/2025年07月22日/水温/ 0m

1カ月先の海況情報（表層水温）



b) 北海道・東北ブロック(139-150E,34-47N)/2025年08月15日/水温/ 0m

【気象情報】

東北地方1カ月予報（令和7年7月10日発表）（気象庁HPから抜粋）

東北地方　１か月予報（07/12～08/11）		
2025年07月10日14時30分 仙台管区気象台 発表		
特に注意を要する事項		期間の前半は、気温がかなり高い状態が続く見込みです。
向こう１か月 07/12～08/11	天候	東北日本海側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率８０％です。
	日照時間	日照時間は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに４０％です。
１週目 07/12～07/18	気温	１週目は、高い確率８０％です。
２週目 07/19～07/25	気温	２週目は、高い確率８０％です。
３～４週目 07/26～08/08	気温	３～４週目は、高い確率５０％です。